

平成 29 年 12 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ  
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則  
(JASDAQ・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 森田 信彦  
TEL 03-6311-6641

**株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル**  
**フィリピン南北鉄道事業 詳細設計及び施工管理受注**  
**総額 223 億 6 千万円**

当社グループ会社の事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、社長：米澤栄二 以下「OCGlobal」）は、OCGlobal を代表とする 6 社の共同事業体（JV）にて、11 月 28 日に国際協力機構（JICA）より、『フィリピン国マロロス-クラーク鉄道事業』及び『フィリピン国南北鉄道事業南線』の詳細設計調査（2 事業パッケージ 契約金額 79 億 6 千万円）を受注いたしました。

また、12 月 1 日にフィリピン運輸省（DOTr）より『フィリピン国南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）』の施工監理業務（契約金額 144 億円）を、OCGlobal を代表とする 5 社 JV で受注いたしました。

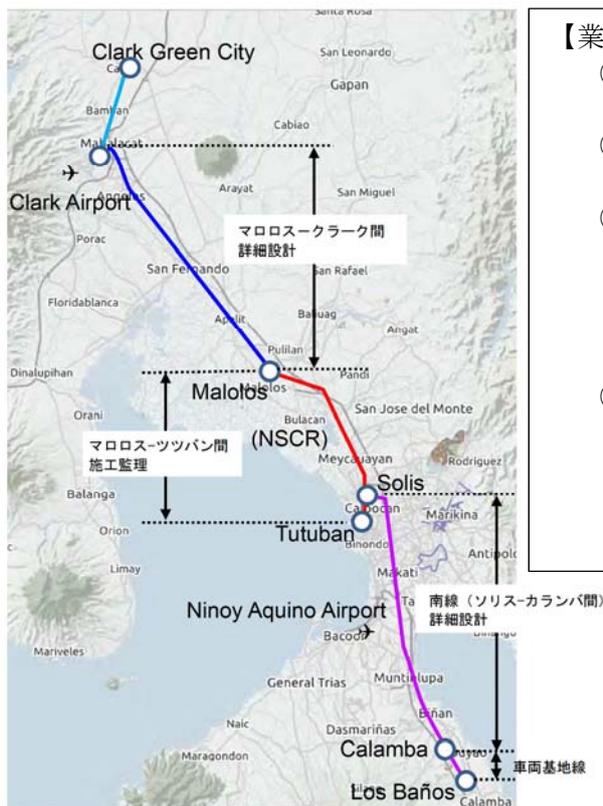
フィリピン経済の中心であるマニラ首都圏は人口 1,300 万人を擁し、急速な発展と経済の一極集中により、交通混雑が悪化の一途をたどっています。そのため、フィリピン政府は首都圏の鉄道事業に力を入れており、マニラを中心に首都圏を南北に結ぶ総延長約 178km の鉄道事業を計画しています。当社は、これまでに本鉄道の中心部にあたる「南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）詳細設計調査」を実施しており、今般、同区間の施工監理を受注いたしました。さらに、本鉄道の北側マロロス-クラーク間と南線（ソリス-カランバ間）の詳細設計を受注いたしました。本鉄道はフィリピン現政権中に部分開通を目指しています。



施工監理業務調印式にて  
左から 3 番目 トゥガデ フィリピン運輸大臣  
2 番目 当社マニラ事務所所長 浅野雄司



マリラオ駅完成イメージ



**【業務概要】**

- ① フィリピン国マロロス-クラーク鉄道事業  
延長：約 70km
- ② フィリピン国南北鉄道事業南線（通勤線）  
延長：約 70km
- ①②の事業  
契約金額：79 億 6 千万円  
業務概要：F/S 調査、基本設計、詳細設計、  
入札図書（案）作成
- ③ フィリピン国南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）  
延長：約 38km  
契約金額：144 億円  
業務概要：高架・駅・車両基地建設工事の  
施工監理

南北鉄道 3 事業 路線図

<本資料に関するお問い合わせ先>  
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020  
URL: <http://www.oriconsulglobal.com/>  
広報・渉外室 富田早季